USA's primary source for projector lamps

myprojectorlamps

プロジェクター所有者の取扱説明書

BenQ

CP120C

このプロジェクターの交換用ランプが必要ですか？

www.mplamps.co.jp

メーカーオリジナル取扱説明書。MyProjectorLamps.comの厚意として、修正せずに提供しています。
すべての商標は、それぞれの所有者の所有物です。

BenQ

CP120c デジタル プロジェクタ
コミューターシリーズ
取扱説明書

Welcome

i著作権

Copyright 2006 by BenQ Corporation. All rights reserved. 本書のいかなる部分も、BenQ Corporation の事前の書面による同意なく、電子的、機械的、磁気的、光学的、化学的、手動その他の手段を問わず、複製、転載、改変、検索システムへの保存、他言語またはコンピュータ言語への翻訳を行うことはできません。

ii免責

BenQ Corporation は、明示的または暗示的を問わず、本書の内容に関して、特に保証、商業的可能性、特定目的への適合性に関しては、いかなる表明または保証もいたしません。また、BenQ Corporation は、お客様に改訂または修正の通知を行う義務を負うことなく、本書を改訂したり、本書の内容を随時修正する権利を有します。

* DLP、Digital Micromirror Device、および DMD は、Texas Instruments の商標です。その他の商標については、それぞれの企業または組織が著作権を保有しています。

目次

安全にお使いいただくために 1

はじめに 5

プロジェクタの特長 5

パッケージ内容 6

別売りアクセサリ 6

プロジェクタ外観ビュー 7

前面 / 上面 7

背面 7

低い方 7

制御装置および機能 8

外部コントロールパネル 8

リモコンの説明 10

リモコンの有効範囲 11

リモコンの電池の装着と交換 11

設置 12

場所の選択 12

スクリーンサイズの調整 12

使用するスクリーンサイズに対しプロジェクタの設置場所を決定する： 13

設置する距離に対し推奨するスクリーンサイズを決定する 14

スクリーンサイズ表 15

接続 16

コンピュータの接続 16

ビデオソース装置との接続 17

コンポーネントビデオソース装置の接続 18

S ビデオソース装置の接続 19

コンポジットビデオソース装置の接続 20

プロジェクタの使用方法 21

起動 21

パスワード機能の使い方 22

パスワードを設定するには 22

パスワードを忘れた場合 23

パスワードの呼び戻しを行うには 23

パスワードを変更するには 23

高さ調整 24

イメージの自動調整 24
画像サイズと明瞭さの微調整 25
キーストーンの補正 25
手動キーストーン補正 25
自動キーストーン補正 26
アプリケーションモードの選択 26
入力信号の切り替え 27
画像を隠す 27
リモートからのページ操作 27
画像の静止 28
終了 28
メニューの操作 29
メニュー システム 29
メニューの使い方 30
1. 画像メニュー 31
2. 高画質画像メニュー 33
3. 設定メニュー 34
4. 高度な設定メニュー 35
5. 情報メニュー 37
メンテナンス 38
プロジェクタのお手入れ 38
レンズのクリーニング 38
プロジェクタケースのクリーニング 38
プロジェクタの保管 38
プロジェクタの移動 38
ランプの使用時間の計算 39
警告メッセージ 39
ランプの交換 40
温度情報 41
インジケータ 42
トラブルシューティング 44
仕様 46
プロジェクタの仕様 46
寸法 47
タイミングチャート 47
PC 入力用にサポートされているタイミング 47
コンポーネント YPbPr 入力用にサポートされている
タイミング 48

ビデオおよびS ビデオ入力用にサポートされている
タイミング 48
保証 49
限定保証 49
法規 50
FCC 規則 50
EEC 規則 50
ICES 規則 （カナダ） 50
VCCI 規則 50
MIC 規則 50

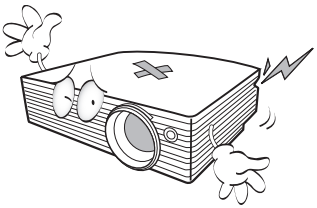
< メモ >

1 安全にお使いいただくために

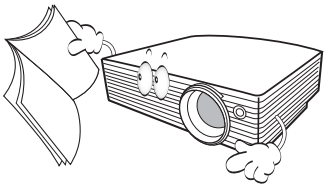
お使いの BenQ プロジェクタは、情報テクノロジ機器の最新の安全規格に適合するように設計され、テストされています。ただし、本装置を安全にご使用いただくために、このガイドおよび装置のマークに記載されている指示に従ってください。

警告

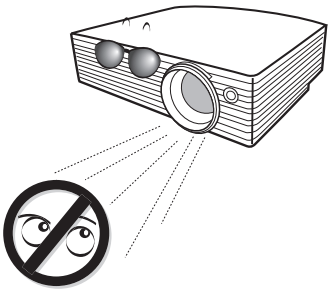
- **本装置のキャビネットは開けないでください。感電する恐れがあります。**ユーザーが保守可能な内部部品はありません。



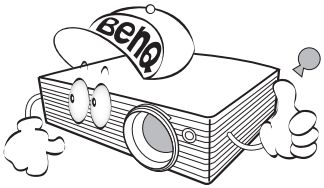
- **プロジェクタを操作する前に、このユーザーズ ガイドをお読みください。**このユーザーガイドは、後で参照できるよう大切に保管してください。



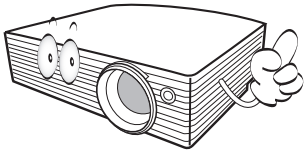
- **動作中は、プロジェクタのレンズを覗き込まないでください。**光線が強力なので、視力障害を引き起こす恐れがあります。



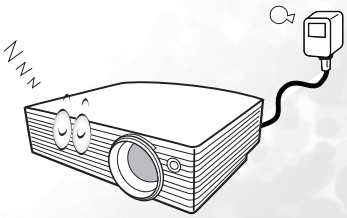
- **点検修理については、認定サービス担当者にお問い合わせください。**



- **プロジェクタのランプをオンにするときは、必ずレンズシャッターを開くか、レンズキャップを取り外してください。**

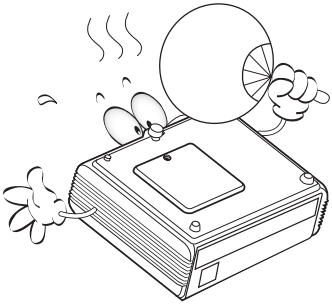


- 国によっては、電源電圧が一定していない場合もあります。プロジェクタは、電源が AC100 ～ 240V の電圧範囲のときに安全に作動するように設計されていますが、停電や ±10V のサージが発生すると故障する可能性があります。**電源の電圧が変動したり、電源供給が中断したりする地域では、電源安定器、サージプロテクタ、または無停電電源装置 (UPS) にプロジェクタを接続することをお薦めします。**

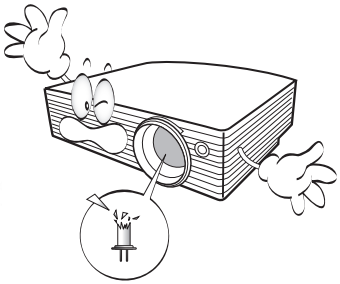


安全上のご注意

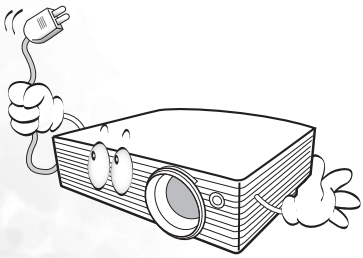
1. ランプは、動作中に非常に高温になります。ランプ部を取り外して交換する場合は、プロジェクタの電源を切ってから 45 分間ほど放置して、プロジェクタを常温に戻してください。



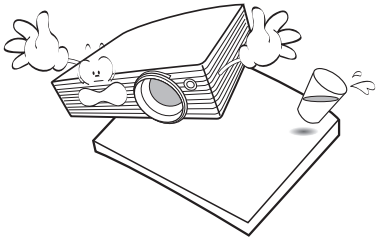
2. ランプは定格寿命より長く使用しないでください。ごくまれですが、定格寿命より長く使用すると、ランプが破裂することがあります。



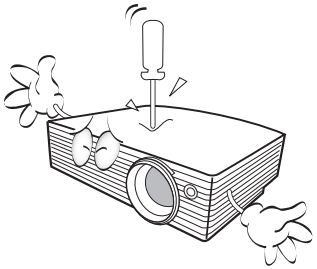
3. ランプ部や電子部品の交換は、必ずプロジェクタの電源プラグを抜いてから行ってください。



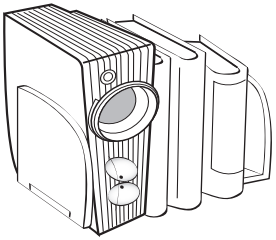
4. 本製品は安定した場所に設置してください。本製品が落下して、重大な損傷を受ける恐れがあります。



5. 本装置のキャビネットは開けないでください。感電する恐れがあります。点検修理については、認定技術者にお問い合わせください。組み立て方法に誤りがあると、本装置を使用するときにプロジェクタの誤作動や感電の恐れがあります。

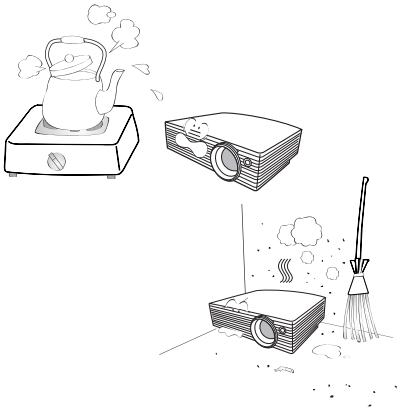


6. 装置を縦向きにしないでください。縦向きにすると、装置が倒れ、けがをしたり装置が損傷する恐れがあります。

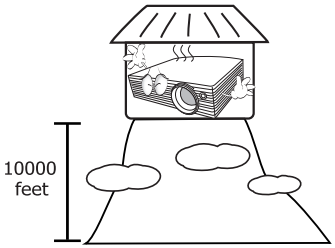


安全上のご注意（続き）

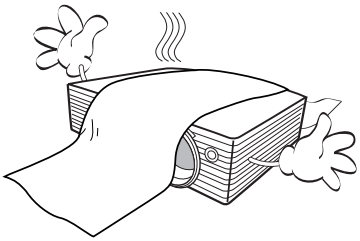
7. 次の場所に装置を置かないでください。
   - 通気が不十分な場所または密閉されている場所。壁との間隔を 50cm 以上空けて、プロジェクタの周辺の風通しをよくしてください。
   - 窓を締め切った車内など、非常に高温になる場所。
   - 非常に湿度が高い場所、ほこりの多い場所、タバコの煙にさらされる場所。このような場所に置くと、光学部品が汚れ、プロジェクタの寿命が短くなり、画像が暗くなります。



   - 火災報知器に近い場所。
   - 周辺温度が 40 ºC / 104 ºF を超える場所。
   - 高度が 10000 フィートを超える場所。

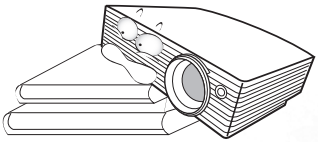


8. 通気孔をふさがないでください。
   - 本装置をブランケットなどの寝具類、または他の柔らかい物の上に置かないでください。
   - 本装置の上に布などをかぶせないでください。
   - プロジェクタの近くに可燃物を置かないでください。

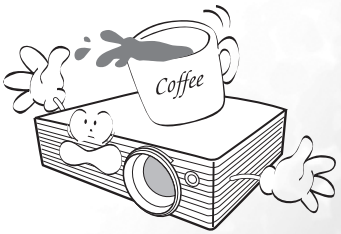


   通気孔がふさがれると、装置の内部が過熱し、火災が発生することがあります。

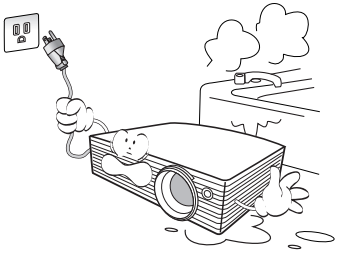
9. 使用時は、必ず装置を水平な平面上に置いてください。
   - 左右の傾きが 10 °、または前後の傾きが 15° を超える状態で使用しないでください。完全に水平になっていない状態で装置を使用すると、ランプが故障したり損傷することがあります。



10. 装置の上に乗ったり、物を置かないでください。



   - 装置が物理的に損傷するだけでなく、事故やけがの原因になります。

安全上のご注意（続き）	
11. プロジェクタが作動しているときに投射レンズを物体で塞ぐと、それが過熱して変形したり、火災の原因となったりします。一時的にランプをオフにするには、プロジェクタかリモコンの **BLANK（ブランク）**ボタンを押してください。	12. プロジェクタの上または近くに液体を置かないでください。プロジェクタ内部に液体がこぼれると故障の原因になります。プロジェクタを濡らした場合は、電源コンセントからプロジェクタを外し、BenQ にご連絡の上プロジェクタの点検をご依頼ください。 

2 はじめに

プロジェクタの特長

このプロジェクタは高性能な光学エンジン投写技術とユーザーフレンドリーな設計を統合しており、高い信頼性と使いやすさを実現しています。本製品の機能は次のとおりです。

• コンパクトで軽量
このプロジェクタは持ち運びが便利なコンパクトな設計で軽量サイズです。

• パスワード保護
パスワード保護機能を設定することにより、特定のユーザーだけにプロジェクタの操作を許可することができます。

• 高品質の手動ズームレンズ
高品質な手動ズームレンズにより、環境やスペースに合わせてイメージを投射することができます。

• ワンキーで自動調整
ボタンを１個押すだけで、あらゆる PC ビデオソースから最適な画質を得ることができます。

• デジタルキーストーンの補正
自動または手動でデジタルキーストーンの補正を行うことができますので、プロジェクタの位置を変えずに歪んだ画像を修正することができます。

• データ / ビデオ表示を調整可能なカラーバランスコントロール
使用するビデオソースと環境照明に合わせて、投射イメージのカラーバランスを微調整することができます。

• 超高輝度投写ランプ
高輝度により投射画像をできる限り明るくします。

• 言語を選択できるオンスクリーンメニュー
オンスクリーンメニューを数ヶ国語の中から選択可能。

• 省電力機能
消費電力を節約する標準 / 省電力モードの切り替えが可能。

• 投写イメージの明るさは、周辺光の状態および選択した入力ソースのコントラスト / 輝度設定によって変わります。

• ランプの輝度は時間の経過に伴い暗くなります。また輝度はランプ製造元の仕様によって異なります。これは異常ではなく、正常で予期される変化です。

パッケージ内容

プロジェクタには、PC への接続に必要なケーブルが同梱されています。丁寧に開梱し、次に示すものがすべて揃っていることを確認してください。不足しているものがある場合は、お買い上げの販売店にご連絡ください。

同梱のアクセサリ類は日本仕様のものであり、本書の図とは異なる場合があります。



プロジェクタ



携帯用ソフトケース

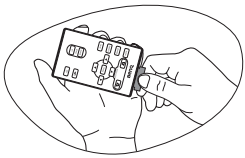


クイックスタート ガイド



リモコン（電池付き）

リモコンを使用する前につまみを引き抜いてください。





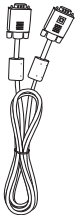
ユーザーズ ガイド



ユーザーズ ガイド CD



USB ケーブル



VGA ケーブル



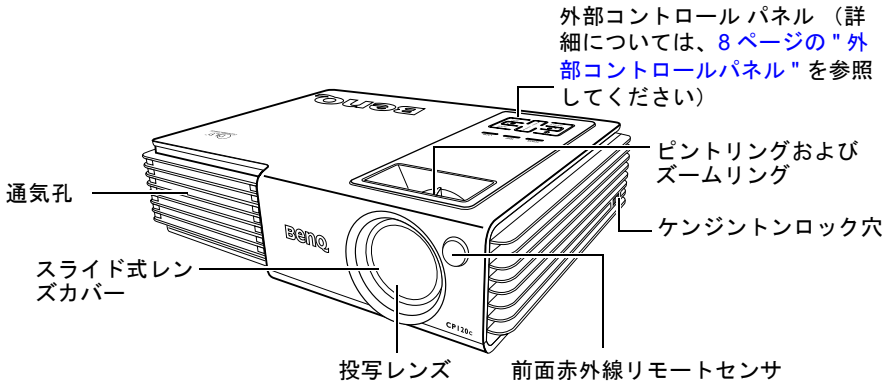
電源コード

別売りアクセサリ

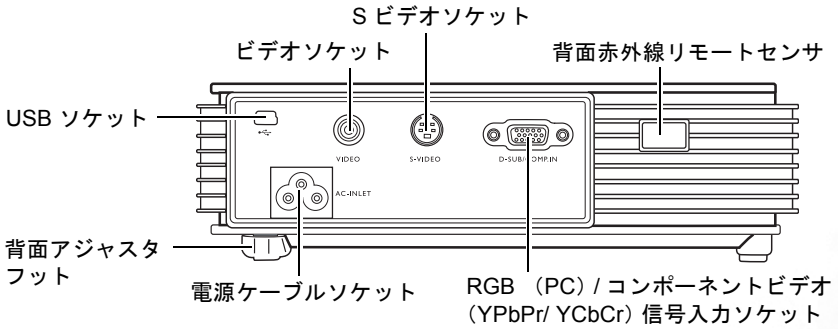
- Macintosh アダプタ
- 132W ランプモジュール（交換または予備用）
- コンポーネントビデオ－ VGA（D-sub）アダプタケーブル
- コンボ（ノートブックコンピュータとプロジェクタ）携帯用ソフトケース

プロジェクタ外観ビュー

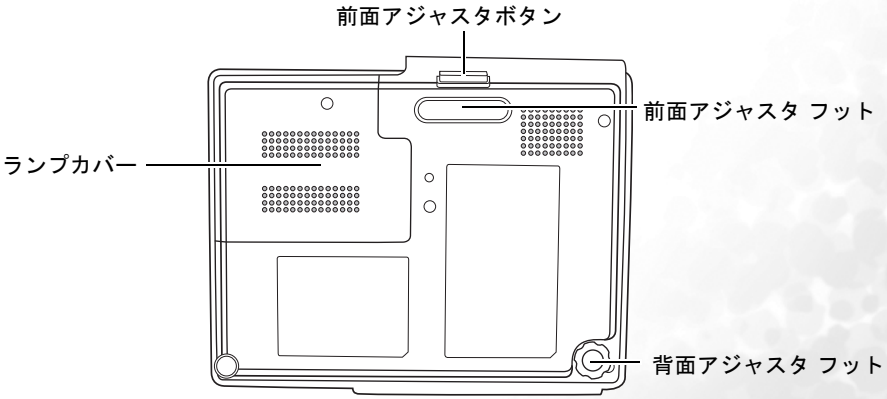
前面 / 上面



背面

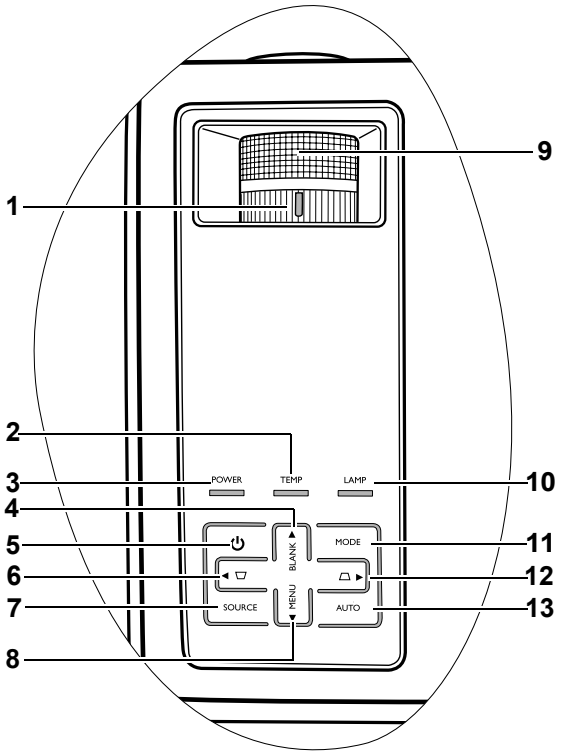


低い方



制御装置および機能

外部コントロールパネル

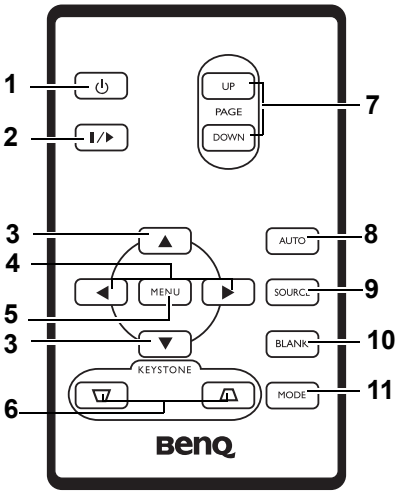


1. **ズームリング（詳細については、25 ページの " 画像サイズと明瞭さの微調整 " を参照してください）**
   投射した画像のサイズを調整します。時計回りに回転させると画像が拡大し、反時計回りに回転させると画像が縮小します。
2. **TEMP（温度警告ライト）（詳細については、42 ページの " インジケータ " を参照してください）**
   プロジェクタの温度が異常に高くなると赤く点滅します。
3. **POWER（電源インジケータライト）（詳細については、42 ページの " インジケータ " を参照してください）**
   プロジェクタ動作中に点灯または点滅します。
4. **BLANK（ブランク）/^ 上ボタン （詳細については 27 ページの " 画像を隠す " と 30 ページの " メニューの使い方 " を参照してください）**
   このボタンを押すと、スクリーン上のイメージが非表示になります。このボタンをもう一度押すとイメージが元に戻ります。
   オンスクリーンメニューが有効になっているときにこのボタンを押すと、1 つ上のアイテムが選択されます。
5. **Power（電源）（詳細については、21 ページの " 起動 " と 28 ページの " 終了 " を参照してください）**

プロジェクタのオン / オフを切り替えます。
プロジェクタがスタンバイモードになっているときにこのボタンを押すと、プロジェクタの電源がオンになります。
プロジェクタがオンになっているときにこのボタンを２回押すと、プロジェクタがスタンバイモードに入ります。

6. **Keystone （キーストーン）▽ / ◀ 左ボタン （詳細については 25 ページの " キーストーンの補正 " と 30 ページの " メニューの使い方 " を参照してください）**
   投射イメージの上部のキーストーンを補正する場合は、このボタンを押します。
   オンスクリーンメニューが有効になっているときにこのボタンを押すと、１つ左のアイテムが選択されるか、または調整することができます。
7. **SOURCE （ソース）（詳細については、27 ページの " 入力信号の切り替え " を参照してください）**
   入力ソースの順番を切り替えます（RGB/YPbPr、ビデオ、S ビデオ）。
8. **MENU （メニュー）/ ▼ 下ボタン （詳細については、30 ページの " メニューの使い方 " を参照してください）**
   オン スクリーン ディスプレイ メニューをオンにします。
   オンスクリーンメニューが有効になっているときにこのボタンを押すと、１つ下のアイテムが選択されます。
9. **ピントリング （詳細については、25 ページの " 画像サイズと明瞭さの微調整 " を参照してください）**
   投写イメージの焦点を調整します。
10. **LAMP インジケータ ライト（詳細については、42 ページの " インジケータ " を参照してください）**
    プロジェクタのランプに問題が発生した場合に点灯または点滅します。
11. **MODE （モード）（詳細については、26 ページの " アプリケーションモードの選択 " を参照してください）**
    アプリケーションモードの中から選択します。
12. **Keystone （キーストーン）△ / ▶ 右ボタン （詳細については 25 ページの " キーストーンの補正 " と 30 ページの " メニューの使い方 " を参照してください）**
    投射イメージの下部のキーストーンを補正する場合は、このボタンを押します。
    オンスクリーンメニューが有効になっているときにこのボタンを押すと、１つ右のアイテムが選択されるか、または調整することができます。
13. **AUTO （自動）（詳細については、24 ページの " イメージの自動調整 " を参照してください）**
    このボタンを押すと、イメージを投射する最適なタイミングをプロジェクタが自動的に決定します。

リモコンの説明

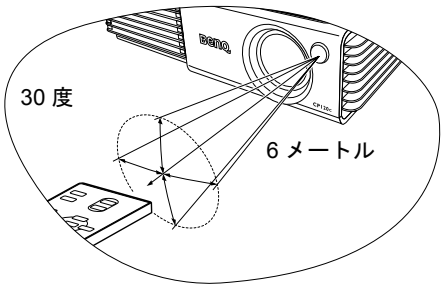


1. **Power（電源）（詳細については、21 ページの " 起動 " と 28 ページの " 終了 " を参照してください）**
   プロジェクタのオン / オフを切り替えます。
   プロジェクタがスタンバイモードになっているときにこのボタンを押すと、プロジェクタの電源がオンになります。
   プロジェクタがオンになっているときにこのボタンを２回押すと、プロジェクタがスタンバイモードに入ります。
2. **Freeze（一時停止）ボタン**
   一時停止ボタンを押すと、イメージが一時停止します。スクリーンの右下隅に " ▮▮ " アイコンが表示されます。一時停止を解除するには、**一時停止**ボタンをもう一度押すか、**SOURCE（ソース）**ボタンを押します。
3. **▲ 上、▼ 下ボタン**
4. **◀ 左、▶ 右ボタン**
   オンスクリーンメニューが有効になっているときには、上 / 下 / 左 / 右のボタンを方向指示のボタンとして使用し、メニュー項目の選択や調整を行います。
5. **MENU（メニュー）（詳細については、30 ページの " メニューの使い方 " を参照してください）**
   オン スクリーン ディスプレイ メニューをオンにします。
6. **▽ KEYSTONE（キーストーン）△（詳細については、25 ページの " キーストーンの補正 " を参照してください）**
   投写角度によって生じる画像の歪みを手動で修正します。
7. **PAGE UP（上のページへ）/ PAGE DOWN（下のページへ）**
   Page Up / Down コマンドに応答する（Microsoft PowerPoint など）ディスプレイソフトウェア（PC 上にインストール）は、これらのボタンを使って操作することができます。
8. **AUTO（自動）（詳細については、24 ページの " イメージの自動調整 " を参照してください）**
   表示画像に最適な画像設定を自動的に決定します。

9. **SOURCE（ソース）（詳細については、27 ページの " 入力信号の切り替え " を参照してください）**
   入力ソースが順番に選択されます（RGB/YPbPr->、ビデオ ->、S ビデオ）。
10. **BLANK（ブランク）（詳細については、27 ページの " 入力信号の切り替え " を参照してください）**
    スクリーンのイメージを消すために使用します。**BLANK（ブランク）**をもう一度押すとイメージが元に戻ります。
11. **MODE（モード）（詳細については、31 ページの " アプリケーションモード " を参照してください）**
    選択した入力信号によって、数種類の画像設定オプションがあります。

リモコンの有効範囲

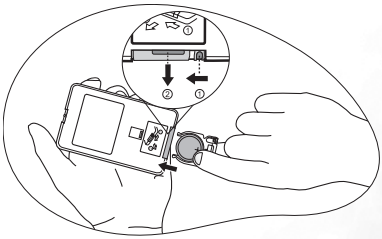
赤外線（IR）リモコンセンサは、プロジェクタの前面と背面にあります。リモコンを正しく機能させるには、プロジェクタの IR リモコンセンサから 30 度以内でリモコンを使用する必要があります。リモコンとセンサの間の距離は、6 メートル（20 フィート）を超えないようにしてください。



リモコンとプロジェクタの間に赤外線を遮断する障害物がないかどうかを確認します。

リモコンの電池の装着と交換

1. 電池ケースを引き出します。
2. 新しい電池をケースに挿入します。プラス極が外側を向くように挿入してください。
3. ケースをリモコンに押し込みます。



• 高温多湿の場所に置かないでください。

• 電池は正しく装着しなければ、リモコンが破損したり、近くにいる人が負傷したりする恐れがあります。

• 使用済みの電池は、同じタイプの電池か、メーカーが推奨する同等タイプの電池と交換してください。

• また、使用済みの電池はメーカーの指示に従って処分してください。

• 電池は絶対に火に投げ込まないでください。爆発する恐れがあり大変危険です。

• 電池が消耗したり、長時間リモコンを使用しない場合は、液体が漏れないようにリモコンから電池を外してください。

3 設置

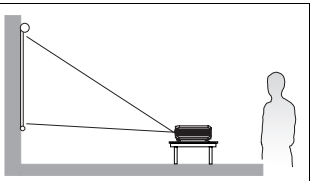
場所の選択

プロジェクタは次の２種類の場所に設置することができます。

1. 前方フロア、または
2. 床面背面

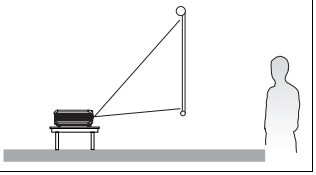
部屋のレイアウトやお好みで、どの設定で設置するか決めてください。設置する際は、スクリーンのサイズや位置、電源コンセントがある場所、プロジェクタとその他の装置の距離や位置などを考慮してください。

I. **床面前面**：プロジェクタをスクリーンの正面に床面近くに設置します。これが最も一般的な設定です。



II. **後方フロア**：プロジェクタをスクリーン背面、床面近くに設置します。

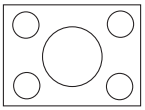
専用の背面スクリーン投写が必要です。プロジェクタ をオンにしたら、**高度な設定** > **ミラー**メニューでを設定してください。



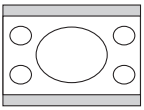
スクリーンサイズの調整

投写距離、ズーム設定、ビデオフォーマットにより投写画面サイズは変化します。

このプロジェクタの最高（ネイティブ）解像度は 1024 x 768 ピクセルであり、縦横の比率が 4:3 です。縦横比 16:9（ワイドスクリーン）の画像を完全に映し出すために、ワイドスクリーン画像をプロジェクタのネイティブ幅にリサイズすることができます。このようにすると、高さがプロジェクタのネイティブ高さの 75% に縮小されます。



縦横比 4:3 の表示エリアに投射した縦横比 4:3 の画像



縦横比 4:3 の表示エリアにリサイズして投射した縦横比 16:9 の画像

したがって、縦横比 16:9 の画像はこのプロジェクタで表示できる縦横比 4:3 のうち、高さの 25% を使用せずに表示することになります。リサイズした 16:9 画像を 4:3 表示エリアの縦方向の中央に表示したとしても、4:3 表示エリアの縦方向 12.5% に相当する使用されないこの部分は、黒いバーで表示されます。

プロジェクタの位置を決定する際、使用目的および入力信号の縦横比を考慮に入れる必要があります。すべての入力信号（16:9 信号を入力するコンポジットビデオ以外）は、4:3 の縦横比で表示されます（リサイズした 16:9 画像の表示エリアよりもさらに 33% 多い表示高さが必要です）。

重要：入力信号を選択する必要がある場合は（16:9 信号を入力するコンポジットビデオ以外）、16:9 をベースとした位置にプロジェクタを固定しないでください。

プロジェクタは必ず机の上などに水平に配置し、スクリーンの水平方向の中央に対して直角になるように設置してください。このように設置することによって、角度を付けて投射（または角度が付いた面に投射する場合）すると生じる画像の歪みを防止することができます。

新しいデジタルプロジェクタはまっすぐに画像を投射しません（例：古いリール・トゥ・リール式のフィルムのプロジェクタ）。代わりに、デジタルプロジェクタはプロジェクタの水平面に対し、やや上向きに角度を付けて投射します。これは机の上に配置したとき、スクリーンの下端が机のレベルよりも上になるよう（また室内の全員がスクリーンをはっきりと見えるように）にするためです。

15 ページの図をご覧になるとお分かりいただけるように、このタイプの投射方法では投射画像の下端がプロジェクタの水平面から縦に傾いてしまいます。プロジェクタをスクリーンから遠ざけると、投射画像のサイズが拡大され、それに伴い縦のオフセットも広がります。

スクリーンとプロジェクタの距離を決定する際は、投射距離に直接比例する投射画像のサイズと縦オフセットのサイズも考慮する必要があります。

プロジェクタを設置するための適度な距離については、縦横比 4:3 のスクリーンサイズの表をご参照ください（15 ページの " スクリーンサイズ表 " 参照）。設置場所を決定するときには、スクリーン中央に対し直角の水平距離（投射距離）と、スクリーンの上下端からのプロジェクタの縦オフセットの高さ（オフセット）の 2 つのサイズを考慮してください。

使用するスクリーンサイズに対しプロジェクタの設置場所を決定する：

1. スクリーンサイズを選択します。
2. 15 ページに記載されている表を参照し、「4:3 スクリーンサイズ」と「4:3 アスペクト（mm）」の欄から使用するスクリーンサイズに最も近い値を探してください。この値の列を右に見ていくと、「平均」という欄に相当するスクリーンからの平均距離が記載されています。これが投射距離になります。
3. 同じ列を右に見ていくと、縦オフセット値が記載されています。この値によって、スクリーンの端からの最終的な縦オフセット位置が決定されます。
4. プロジェクタはスクリーンの水平方向の中心に対して直角に、ステップ 2 で決定したスクリーンからの距離に、さらにステップ 3 で決定したオフセット値で設置するよう推奨します。

たとえば 120 インチスクリーンを使用する場合、平均投射距離は 4757mm となり、縦オフセットは 229 mm となります。

プロジェクタの設置場所を変えた場合は（推奨される範囲内で）、イメージがスクリーンの中央に表示されるようにスクリーンを上下に傾けて調整する必要があります。そうすると、イメージに歪みが生じる場合があります。この場合は、キーストーン機能を使用して歪みを補正します。キーストーンの補正については、25 ページの " キーストーンの補正 " を参照してください。

設置する距離に対し推奨するスクリーンサイズを決定する：

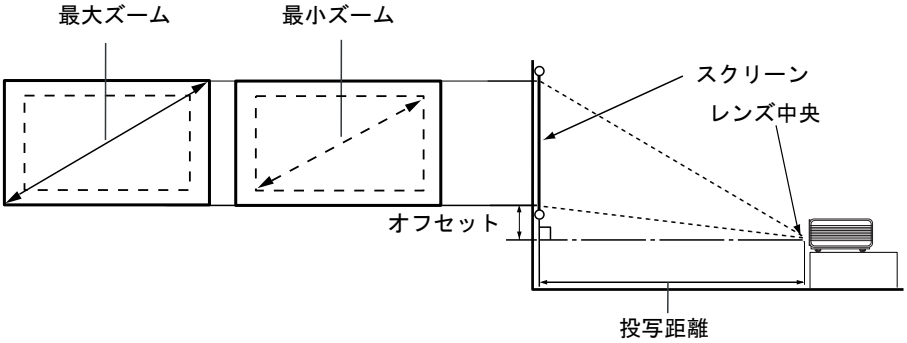
これは、プロジェクタを設置する部屋に合ったスクリーンサイズを求めるための方法です。最大スクリーンサイズは、使用する部屋の実際のスペースが上限となります。

1. プロジェクタとスクリーンを設置したい場所までの距離を測ってください。これが投射距離になります。
2. 15 ページの表を参考にして、「平均」という欄からスクリーンからの平均距離に最も近い値を探してください。測定した距離が最小距離と最大距離（平均距離値の両側に表示されています）の間にあることを確認してください。
3. この値と同じ列を左へ見ていくと、相当するスクリーンサイズを見つけることができます。これが投射距離からの投射画像サイズになります。
4. 同じ列を右に見ていくと、縦オフセット値が記載されています。この値によって、プロジェクタの水平面を基にした最終的なスクリーン設置場所が決定されます。

たとえば、測定した投射距離が 4.5m （4500mm）であったとき、「平均」欄の最も近い値は 4682mm になります。同じ列を見ると、3000mm （3m）が必要なスクリーンであることが分かります。大型サイズのスクリーンしか使用できない場合は、3m スクリーンの両側にリストされているスクリーンサイズは 9 インチと 10 インチになっています。

これらのサイズ（9 インチと 10 インチ）の最小および最大投射距離を確認すると、測定した 4.5m の投射距離がこれらのスクリーンにも適合することを示しています。このプロジェクタは同じ投射距離で、スクリーンサイズを変えて表示するように調整することもできます（ズームコントロールを使用します。）スクリーンサイズが変わると、縦オフセットの値も変わりますので注意してください。

スクリーンサイズ表



4:3 スクリーンサイズ			4:3 アスペクト（mm）		スクリーンからの距離（mm）			縦オフセット（mm）
フィート	インチ	mm	幅	高さ	最短距離（最大ズームにて）	平均	最長距離（最小ズームにて）	
4	48	1219	975	732	1752	1903	2054	91
		1500	1200	900	2155	2341	2527	113
5	60	1524	1219	914	2190	2379	2568	114
6	72	1829	1463	1097	2628	2854	3081	137
		2000	1600	1200	2874	3122	3370	150
7	84	2134	1707	1280	3066	3330	3595	160
8	96	2438	1951	1463	3503	3806	4109	183
		2500	2000	1500	3592	3902	4212	188
9	108	2743	2195	1646	3941	4282	4622	206
		3000	2400	1800	4310	4682	5054	225
10	120	3048	2438	1829	4379	4757	5135	229
		3500	2800	2100	5029	5463	5897	263
12	144	3658	2926	2195	5256	5709	6163	274
		4000	3200	2400	5747	6243	6739	300
15	180	4572	3658	2743	6569	7136	7703	343
		5000	4000	3000	7184	7804	8424	375
18	216	5486	4389	3292	7883	8563	9244	411
		6000	4800	3600	8621	9365	10109	450
25	300	7620	6096	4572	10948	11893	12838	572

光学部品の偏差のため、これらの数字には 3 ～ 5% の公差があります。

4 接続

信号ソースをプロジェクタに接続する際には、次の点を確認してください。

- 接続を行う前にすべての機器の電源をオフにします。
- 各ソースに正しい信号ケーブルを使用します。
- ケーブルがしっかり差し込まれていることを確認します。

• 下に示す接続図では、プロジェクタにケーブルは接続されていません（詳細は、6 ページの " パッケージ内容 " を参照してください）。ケーブルはお近くの電気店でお求めください。

• このプロジェクタにはスピーカーは搭載されていません。またオーディオ再生にも対応していません。

コンピュータの接続

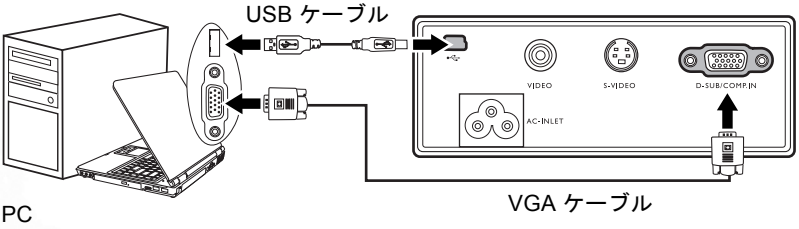
このプロジェクタには PC と接続するための VGA 入力ソケットがついています。

また USB ケーブルを使ってプロジェクタと PC を接続し、PC 上のプレゼンテーションページをプロジェクタで操作することもできます（詳細は、27 ページの " リモートからのページ操作 " を参照してください）。

プロジェクタと PC を接続するには :

1. 付属の VGA ケーブルをコンピュータの D-Sub 出力ソケットに接続します。
2. VGA ケーブルのもう片端をプロジェクタの D-SUB/COMP IN 信号入力ソケットに接続します。
3. ページ操作をリモートで行うには（詳細は、27 ページの " リモートからのページ操作 " を参照してください）、付属の USB ケーブルでコンピュータの USB ポートとプロジェクタの USB ソケットを接続してください。

最終的には、下の図のような接続状態になります。



• Macintosh コンピュータ（http://www.info.apple.com/usen/legacy/）に接続するには、Mac アダプタ（別売のアクセサリ）が必要です。

• 多くのノートブックコンピュータでは、プロジェクタを接続すると外付けビデオポートはオンになりません。通常は FN + F3 や CRT / LCD の組み合わせによって、外付けディスプレイをオン / オフにすることができます。ノートブックコンピュータ上で CRT / LCD と記された機能キーか、モニタの記号が表示された機能キーの位置を確認してください。FN とその機能キーを同時に押します。ノートブックコンピュータのキーの組み合わせについては、コンピュータの説明書をお読みください。

ビデオソース装置との接続

このセクションでは、ビデオケーブルを使ってプロジェクタとビデオソース装置を接続する方法を説明します。ビデオプレゼンテーションを行う場合は、ビデオケーブル接続をお薦めします。

本プロジェクタは次の出力ソケットのいずれかを備えたビデオソース装置と接続することができます。

- コンポーネントビデオ
- S ビデオ
- ビデオ （コンポジット）

上記のいずれかの方法でプロジェクタとビデオソース装置を接続してください。ただし、方法によってビデオ品質が異なります。接続方法は、プロジェクタとビデオソース装置の両方に搭載されている端末に合ったものを選択してください。

最高のビデオ品質

最高の品質を実現する接続方法は、コンポーネントビデオです（コンポジットビデオと間違えないでください）。デジタル TV チューナーや DVD プレーヤーはコンポーネントビデオを出力しますので、使用できるならばこの方法で接続してください。

プロジェクタとコンポーネントビデオ装置の接続方法については、18 ページの " コンポーネントビデオソース装置の接続 " を参照してください。

良好なビデオ品質

S ビデオは標準のコンポジットビデオよりも品質が良いアナログビデオを再現します。ビデオソース装置にコンポジットビデオと S ビデオの両出力端末が付いている場合は、S ビデオを選択してください。

プロジェクタと S ビデオ装置の接続方法については、19 ページの "S ビデオソース装置の接続 " を参照してください。

標準ビデオ品質

コンポジットビデオはアナログビデオであり、見るだけなら十分です。ただしプロジェクタから投射される結果は最適値以下であり、ここで記載した方法の中では最も品質が低い方法です。

プロジェクタとコンポジットビデオ装置の接続方法については、20 ページの " コンポジットビデオソース装置の接続 " を参照してください。

コンポーネントビデオソース装置の接続

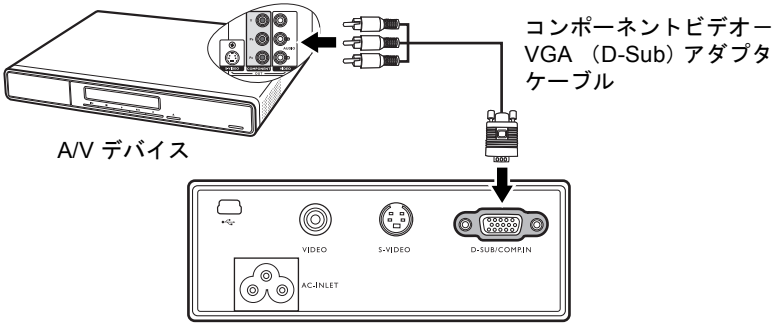
ビデオソース装置に未使用のコンポーネントビデオ出力ソケットがあるかどうかを調べてください。

- ある場合は、手続きを続けてください。
- ない場合は、別の方法で装置を接続してください。

プロジェクタをコンポーネントビデオソース装置に接続するには

1. （オプションアクセサリの）コンポーネントビデオー VGA （D-Sub）アダプタケーブルの 3 個の RCA タイプコネクタが付いた方をビデオソース装置のコンポーネントビデオ出力ソケットに差し込んでください。プラグの色とソケットの色を合わせてください（緑は緑と、青は青と、赤は赤と）。
2. コンポーネントビデオー VGA （D-Sub）アダプタケーブルのもう片端（D-Sub タイプコネクタが付いた方）をプロジェクタの D-SUB / COMP IN ソケットに差し込みます。

最終的には、下の図のような接続状態になります。



ネイティブ 16:9 ピクチャを表示できるビデオ出力は、コンポーネントビデオだけです。

プロジェクタを高精度 TV （HDTV）チューナーに接続する場合は、次の規格がサポートされています。

- 480i
- 576i
- 720p （50 / 60 Hz）
- 480p
- 576p
- 1080i （50 / 60 Hz）

電源をオンにしても選択したビデオイメージが表示されず、正しいビデオソースが選択されている場合、ビデオソース装置の電源がオンになっていて正しく動作していることを確認してください。また信号ケーブルが正しく接続されていることを確認します。

S ビデオソース装置の接続

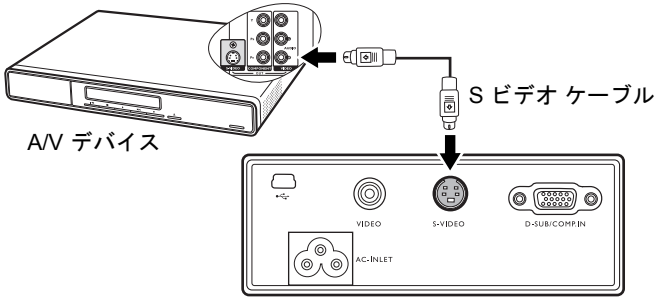
ビデオソース装置に未使用の S ビデオ出力ソケットがあるかどうかを調べてください。

- ある場合は、手続きを続けてください。
- ない場合は、別の方法で装置を接続してください。

プロジェクタを S ビデオソース装置に接続するには

1. 適切な S ビデオケーブル（本製品には同梱されていません）をビデオソース装置の S ビデオ出力ソケットに差し込んでください。
2. S ビデオケーブルのもう片端をプロジェクタの S ビデオソケットに差し込んでください。

最終的には、下の図のような接続状態になります。



• 電源をオンにしても選択したビデオイメージが表示されず、正しいビデオソースが選択されている場合、ビデオソースの電源がオンになっていて正しく動作していることを確認してください。また信号ケーブルが正しく接続されていることを確認します。

• コンポーネントビデオ接続方式によりプロジェクタとこの S ビデオソース装置をすでに接続してある場合は、S ビデオ接続方式でこの装置を接続すると不要に 2 つめの接続が生じ、画質が悪くなるため、この装置を接続する必要はありません。17 ページの " ビデオソース装置との接続 " を参照してください。

コンポジットビデオソース装置の接続

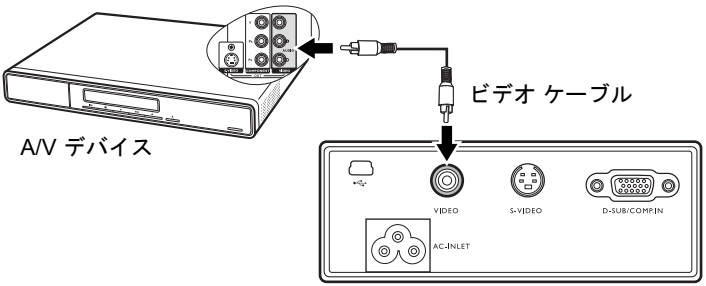
ビデオソース装置に未使用のコンポジットビデオ出力ソケットがあるかどうかを調べてください。

- ある場合は、手続きを続けてください。
- ない場合は、別の方法で装置を接続してください。

プロジェクタをコンポジットビデオソース装置に接続するには

1. 適切なビデオケーブル（本製品には同梱されていません）をビデオソース装置のコンポジットビデオ出力ソケットに差し込んでください。
2. ビデオケーブルのもう片端をプロジェクタのビデオソケットに差し込んでください。

最終的には、下の図のような接続状態になります。

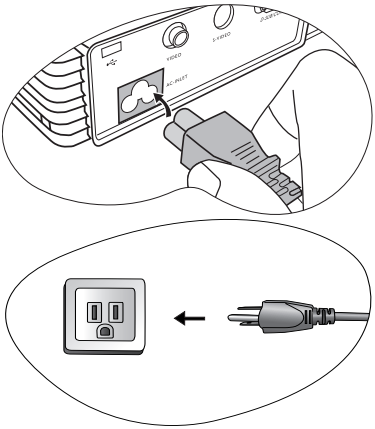


• 電源をオンにしても選択したビデオイメージが表示されず、正しいビデオソースが選択されている場合、ビデオソースの電源がオンになっていて正しく動作していることを確認してください。また信号ケーブルが正しく接続されていることを確認します。

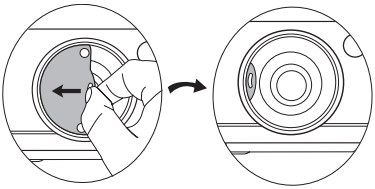
• コンポーネントビデオ入力と S ビデオ入力を使用できない場合に限り、コンポジットビデオ接続方式で接続してください。17 ページの " ビデオソース装置との接続 " を参照してください。

5 プロジェクタの使用方法

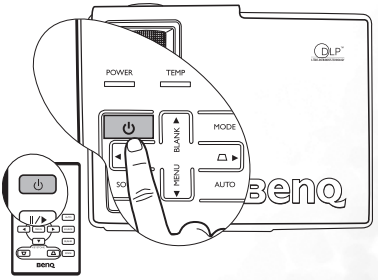
起動



1. 電源コードをプロジェクタとコンセントに差し込みます。コンセントのスイッチをオンにします（該当する場合）。電源を入れると、**POWER（電源）**インジケータがオレンジ色になります。



2. レンズカバーをスライドさせて開きます。キャップを付けたままにしておくと、過熱によりキャップが変形する場合があります。



3. リモコンまたはプロジェクタの**POWER（電源）**ボタンを 2 秒間押し続けて装置を起動します。**POWER（電源）**インジケータ ライトが緑色に点滅し、電源がオンになると、緑色のまま点灯します。
スタートアップには **POWER（電源）**ボタンを押してから約 30 秒かかります。その後、デフォルトの BenQ ロゴが投射されます。

プロジェクタが前回の動作を終えた後まだ余熱を帯びている場合は、ランプをスタートアップする前に約 90 秒間冷却ファンが作動します。

4. パスワードを入力するよう要求されたら、矢印ボタンを押して 4 桁のパスワードを選択し、**AUTO（自動）**ボタンを押してください。パスワード機能については、22 ページの " パスワード機能の使い方 " を参照してください。
5. 接続されているすべての機器の電源をオンにします。
6. 現在スキャン中の入力ソースはスクリーンの上ダイアログ部分に表示されます。入力ソース信号が検出されるまでスキャンが続行されます。

自動電源オフ機能（詳細は、36 ページの " 自動電源オフ（オフ）" を参照してください）が有効になっているときに、選択したソースから一定時間以上（自動電源オフ機能で設定）入力信号が検出されなければ、プロジェクタの電源は自動的にオフになります。

SOURCE（ソース）ボタンを押すと、入力信号を手動で選択することができます。詳細は、27 ページの " 入力信号の切り替え " を参照してください。

☞ **入力信号の周波数 / 解像度がプロジェクタの動作範囲を超えた場合、[Out of Range] というメッセージが消画スクリーンに表示されます。このメッセージは、入力信号を適切なソースに変更するまで表示され続けます。**

パスワード機能の使い方

セキュリティのため、および許可されていないユーザーがプロジェクタを勝手に使用できないように、このプロジェクタにはパスワードを設定することができます。パスワードはオンスクリーンメニューで設定します。オンスクリーンメニューの操作方法については、30 ページの " メニューの使い方 " を参照してください。

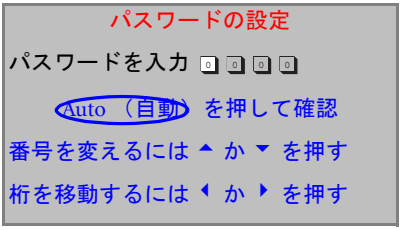
☞ **警告：パスワード機能を有効にしたにも関わらず、パスワードを忘れてしまうと面倒なことになります。本書を印刷し、設定したパスワードを本書に書き留めておき、安全な場所に保管しておいてください。**

パスワードを設定するには

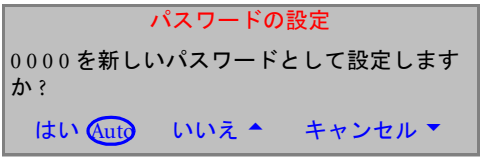
☞ **注意：一度パスワードを設定すると、プロジェクタを起動するたびに正しいパスワードを入力しなければプロジェクタを使用することはできなくなります。**

1. オンスクリーンメニューを開き、Setting（設定）> Password（パスワード）を選択します。◀ **左** または ▶ **右**ボタンを押して**オン**を選択してください。

2. 初めてこの機能を有効にすると、スクリーン上に警告が表示されます。▲ または ▼ **下**ボタンを使ってパスワードの番号を選択してください。パスワードの桁を変えるには、◀ **左** または ▶ **右**ボタンをお使いください。



3. パスワードを完全に入力したら、AUTO（自動）を押して確認してください。確認のメッセージが表示されます。



☞ • **入力したパスワード番号はスクリーン上に表示されます。**
• **重要：選択したパスワードは本書の下の欄に書き留めておき、忘れたときにいつでも参照できるようにしておいてください。**
パスワード：_____
本書は安全な場所に保管しておいてください。

4. 次のいずれかの作業を行ってください。

• AUTO（自動）を押して続行します。「パスワードの設定が完了しました」というメッセージが表示されたらセットアップが完了したことになります。
• 前のスクリーンに戻りパスワードを入力し直すには、▲ **上**ボタンを押します。

- パスワードの設定を中止し、オンスクリーンメニューに戻るには、▼ **下**ボタンを押します。

パスワードを忘れた場合

一度パスワードを設定すると、プロジェクタを起動する度に毎回４桁のパスワードを入力するよう要求されます。パスワードを間違えると、エラーメッセージが表示されます。プロジェクタの電源を一度切って（**Power（電源）**を押します）もう一度やり直してください。パスワードを忘れてしまい、さらにパスワードを記録しておかなかった場合は、パスワードの呼び戻し手続きを行ってください。

パスワードの呼び戻しを行うには

▶ **右**ボタンを 5 秒間押します。スクリーン上にコード化された番号が表示されます。番号をデコードするには、お近くの BenQ サービスセンターにお問い合わせください。お客様がこのプロジェクタを使用できる正当なユーザーであることを確認するために、購入を証明する文書の提示を求められる場合があります。

パスワードを変更するには

1. オンスクリーンメニューを開き、 **Setting（設定）** > **パスワードの変更**を選択します。
2. ◀ **左**か ▶ **右**を押します。すると「パスワードの変更」メッセージが表示されます。
3. 古いパスワードを入力します。

- パスワードが正しければ、新しいパスワードを入力することができます。

☞ • **重要：選択したパスワードは本書の下の欄に書き留めておき、忘れたときにいつでも参照できるようにしておいてください。**

パスワード：
本書は安全な場所に保管しておいてください。

- 入力したパスワードが正しくなければ、「パスワード エラー」メッセージが表示されます。もう一度入力するには ▲ **上**を押します。キャンセルするには ▼ **下**を押します。

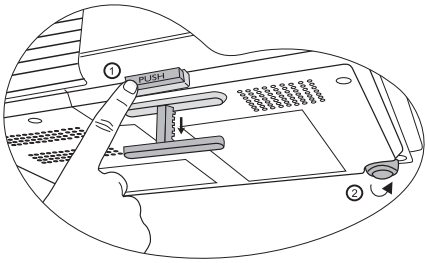
4. 新しいパスワードをチェックしてください。
5. 次のいずれかの作業を行ってください。

- **AUTO（自動）**ボタンを押して作業を完了します。
- ▲ **上**ボタンを押してもう一度やり直します。
- 設定を中止し、オンスクリーンメニューに戻るには、▼ **下**ボタンを押します。

高さ調整

プロジェクタには、クイック リリース アジャスタ フットが 1 つ、背面アジャスタ フットが 1 つ備え付けられています。これらのアジャスタを使って、イメージの高さと投写角度を調整します。プロジェクタを調整するには、次の手順にしたがってください。

1. プロジェクタを持ち上げ、アジャスタボタンを押してアジャスタを解放します。アジャスタが所定の位置に下りて固定されます。



☞ **ランプが点灯しているときには絶対にレンズを覗かないでください。ランプからは強い光が発されており、目を傷つける場合があります。**

2. 背面アジャスタ フットを回して、水平角度を微調整します。

フットを縮めるには、フロントアジャスタ ボタンを押しながらプロジェクタを持ち上げて、ゆっくりとプロジェクタを下ろします。背面アジャスタフットを逆方向に回します。

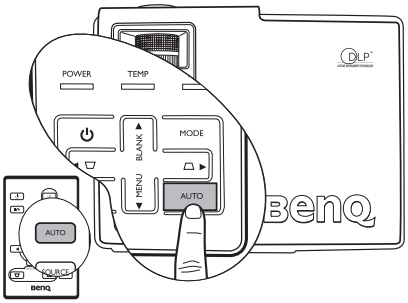
☞ **スクリーンとプロジェクタが垂直になっていなければ、投影画像は縦に歪みます。これを補正するには、プロジェクタのコントロール パネルまたはリモコンの画像メニューでキーストーンの値を調整します。**

イメージの自動調整

場合によっては、画質を最適化する必要が生じることもあります。

これを実行するには、**AUTO（自動）**ボタンを押します。組み込みのインテリジェント自動調整機能により周波数およびクロックの値が再調整され、3 秒以内に最適な画質が得られます。

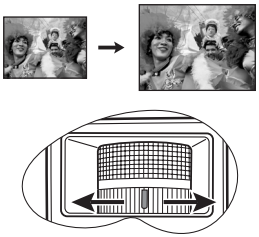
下図のように、現在のソース情報がスクリーンの右下隅に 3 秒間表示されます。



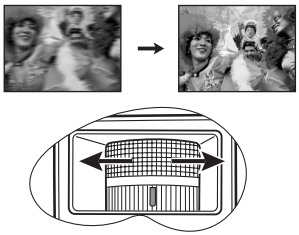
☞ **[AUTO]（自動）が機能している間、スクリーンは消画の状態になります。**

画像サイズと明瞭さの微調整

1. 投写されたイメージのサイズを調整するには、ズームリングを使用します。



2. 次にピントリングを使って画像のシャープネスを調整します。



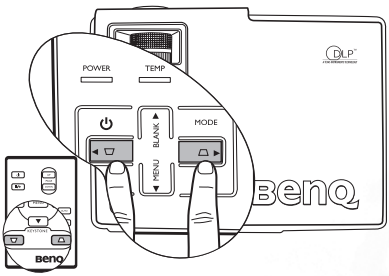
12 ページの " スクリーンサイズの調整 " のスクリーンサイズ表を参照してください。

キーストーンの補正

キーストーンとは、投写イメージの上部または下部が大きく広がってしまう状態のことです。プロジェクタがスクリーンに対して垂直でない場合に発生します。

手動キーストーン補正

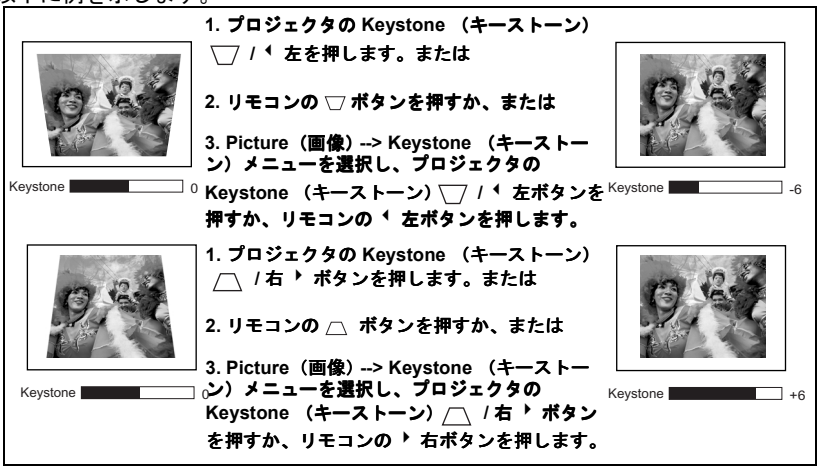
キーストーンを手動で補正するには、次の手順にしたがってください。



1. プロジェクタの投射角度を調整します。
2. **AUTO（自動）**ボタンを押します。
3. それでもイメージが歪む場合は、次のいずれかの方法により手動で補正する必要があります。

- プロジェクタのコントロールパネルの **Keystone（キーストーン）▽ / ◀ 左**または **Keystone △ / ▶ 右** を押し、［キーストーン］というステータスバーを表示します。イメージの上部のキーストーンを補正する場合は、**Keystone（キーストーン）▽ / ◀ 左**ボタン を押します。イメージの下部のキーストーンを補正する場合は、**Keystone（キーストーン）△ / ▶ 右**ボタンを押します。
- リモコンの **▽ / △** ボタンを押して、［キーストーン］というラベルの付いたステータスバーを表示してから、イメージの上部のキーストーンを補正する場合は、▽ を押し、イメージの下部のキーストーンを補正する場合は、△ を押します。
- プロジェクタの **MENU（メニュー）/ ▼ 下**ボタンか、リモコンの **MENU** ボタンを押します。 **Picture（画像）**--> **Keystone（キーストーン）**を選択し、プロジェクタの **Keystone（キーストーン）▽ / ◀ 左**または **Keystone △ / ▶ 右** ボタン、またはリモコンの **◀ 左**または **▶ 右**を押して値を調整してください。

以下に例を示します。



自動キーストーン補正

このプロジェクタには、自動的にキーストーンを補正する自動キーストーン機能が備えられています。32 ページの " 自動キーストーン （オン）" を参照してください。

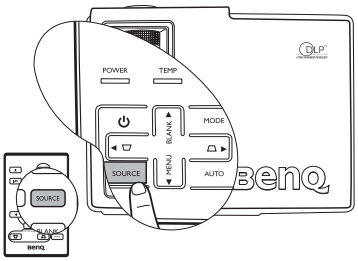
アプリケーションモードの選択

このプロジェクタは操作環境や入力ソースの画像タイプによって自由に選択できるように、いくつかのアプリケーションモードが設定されています。必要に応じて操作モードを選択するには、**MODE （モード）**ボタンを押してください。信号タイプごとに使用できるモードは次の通りです。31 ページの " アプリケーションモード " を参照してください。

PC 信号入力				
最大輝度	プレゼンテーション（デフォルト）	sRGB / フォト	ゲーム	ビデオ
YpbPr / S ビデオ / ビデオ信号入力				
ムービー（デフォルト）	シネマ	フォト	ゲーム	

入力信号の切り替え

プロジェクタは同時に複数の装置に接続することができます。ただし一度に表示できる装置は１台です。有効な入力ソースを切り替えるには、**SOURCE（ソース）**ボタンを押してください。このボタンを押すと、スクリーン中央にソース選択メニューが表示されます。

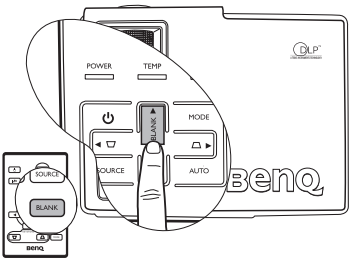


入力信号を変えると、そのたびに投射画像の輝度も変わります。通常ほとんどが静止画を使ったデータ（グラフィック）PC プレゼンテーションは、ほとんどが動画（ムービー）のビデオよりも明るくなります。

入力タイプによって、アプリケーションモードで有効なオプションが変わります。26 ページの " アプリケーションモードの選択 " を参照してください。

画像を隠す

BLANK（ブランク）（または **BLANK / ▲ 上**）ボタンを押すとスクリーンのイメージが消えるため、聴衆の関心をすべて講演者に向けることができます。このボタンをもう一度押すとイメージが元に戻ります。イメージが非表示になると、スクリーンの右下隅に、**BLANK（ブランク）**と表示されます。

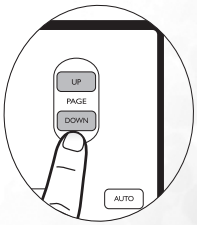


Advance（高度な設定）--> ブランク時間を設定すると、一定時間消画スクリーン状態で何もしなかった場合に、自動的に画像が戻るように設定できます。

投射中に投写レンズを他の物体で覆わないでください。その物体が過熱し、火災の原因となり危険です。

リモートからのページ操作

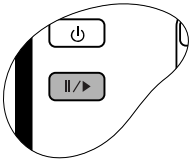
PAGE UP / DOWN コマンドに応答する（Microsoft PowerPoint など）ディスプレイソフトウェア（PC 上にインストール）は、リモコンの Page Up や Page Down ボタンを使って操作することができます。詳細は 16 ページの " コンピュータの接続 " を参照してください。



この機能を使用する前に、プロジェクタと PC またはノートブック PC を USB ケーブルで接続します。

画像の静止

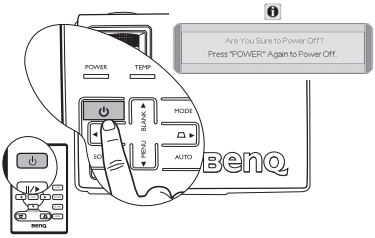
リモコンの **Freeze （一時停止）**ボタンを押すと画像が静止します。スクリーンの右下隅に ▮▮ アイコンが表示されます。一時停止を解除するには、リモコンの **Freeze （一時停止）**ボタンを押すか、**SOURCE （ソース）**ボタンを押してください。



このボタンを押しても信号ソースを遠隔操作できるわけではありません。現在スクリーンに投射されているイメージを一時的に停止させるだけです。

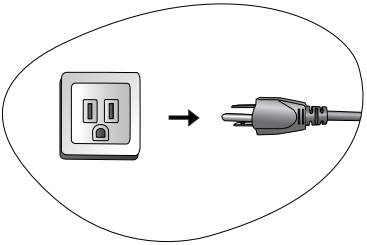
終了

1. **Power （電源）**を押すと、警告メッセージが表示されます。**Power （電源）**をもう一度押すと、プロジェクタの電源がオフになります。
2. **Power （電源）**インジケータライトがオレンジ色に点滅してランプが消灯した後、プロジェクタを冷却するためにクイック冷却機能で指定した期間（34 ページの " クイック冷却 （オン）" を参照）ファンが作動します。



⚠ **ランプを保護するため、冷却プロセスの間はプロジェクタはいかなるコマンドにも反応しません。**

3. 電源コードをコンセントから抜きます。



⚠ **• プロジェクタ終了手順が完了するまで、または冷却処理中は、電源コードを抜かないでください。**

• プロジェクタを正しくシャットダウンしなければ、ランプの故障の原因となります。ランプがまだ熱を持っている間は、プロジェクタを動かさないでください。

メニューの操作

メニュー システム

OSD メニューは、選択した信号のタイプにより異なります。

	受信信号のタイプにより使用可能な機能	
サブメニュー	**PC**	**ビデオ / S ビデオ / コンポーネント ビデオ**
 **画像**	アプリケーションモード 自動キーストーン キーストーン 色温度 輝度 コントラスト	アプリケーションモード 自動キーストーン キーストーン 色温度 輝度 コントラスト 色 * 色合い
 **高画質画像**	自動サイズ調整 縦横比 水平位置 垂直位置 位相 水平サイズ	自動サイズ調整 縦横比 シャープネス
 **設定**	OSD 時間 クイック冷却 パスワード パスワードの変更 リセット	
 **高度な設定**	ミラー ブランク時間 ソース スキャン 言語 スプラッシュ スクリーン 高地モード 自動電源オフ 省電力モード	
 **情報**	ソース 解像度 アプリケーションモード ランプ時間（補正済み）	ソース システム アプリケーションモード ランプ時間（補正済み）

* ビデオまたは S ビデオ信号が接続されているときには、この機能は NTSC 規格が選択されているときにしか使用することができません。

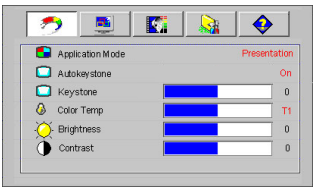
メニューの使い方

プロジェクタは、On-Screen Display （OSD）メニューを備えており、各種の調整や設定が行えます。

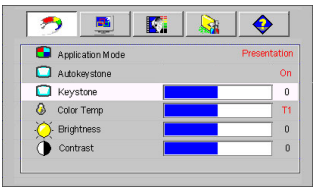
メニュー言語は選択することができます。調整を行う前に、 **Advance（高度な設定）** > **言語**メニューで OSD 言語を選択してください。（詳細については、35 ページの "4. 高度な設定メニュー " を参照してください）。

次の例では、キーストーンの調整を説明します。

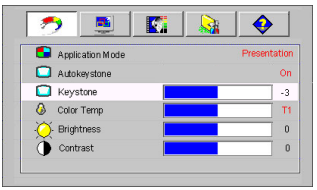
1. **Menu**（または **MENU /▼**）ボタンを押すと、オンスクリーンメニューがオンになります。



2.  **Picture （画像）** メニューを選択するには、**左 ◀ / 右 ▶** ボタンを使用します。
3. **Keystone （キーストーン）**を選択するには、**▲ 上 / ▼ 下** ボタンを使用します。



4. キーストーン値を調整するには、**左 ◀ / 右 ▶** ボタンを使用します。



5. **MENU （メニュー）**ボタン を押して設定を保存します。1 回押すとサブメニューに戻り、2 回押すとオンスクリーンメニューが終了します。

1. 画像メニュー

・項目によっては、特定の入力ソースを使用している場合にしか調整できないものもあります。調整できない項目はスクリーンには表示されません。

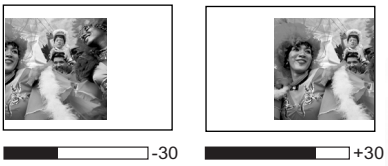
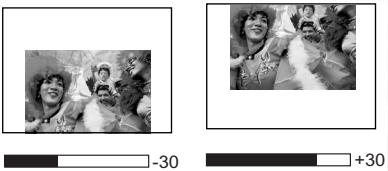
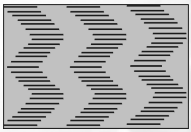
・選択した色温度、輝度、コントラスト、色の値は、続けてアプリケーションモードを選択するとリセットされます。

機能（デフォルト設定 / 値）	説明
アプリケーションモード **（PC: プレゼンテーション）** **（YpbPr / S ビデオ / ビデオ：ムービー）**	あらかじめ定義したモードを利用すると、ご使用のプログラムタイプに最適なプロジェクタのイメージを設定することができます。 リモコンの Mode（モード）ボタンを使ってあらかじめ定義したモードを選択することもできます。26 ページの " アプリケーションモードの選択 " を参照してください。 **PC 信号入力** 1. **最大輝度モード**：イメージの輝度を最大限明るくします。このモードは、輝度を最高に明るくする必要がある環境に適しています（プロジェクタを明るい部屋で使用する場合など）。 2. **プレゼンテーションモード（デフォルト）**：プレゼンテーションに向いています。このモードでは PC の色に合わせて輝度が強調されます。 3. **ゲームモード**：明るいリビング ルームでコンピュータゲームをする場合に適しています。 4. **sRGB / フォトモード**：RGB の純度を最高に上げて、輝度設定に関係なく実物のようなリアルな画像を再現します。このモードは sRGB 対応の正しく調整されたカメラで撮影したフォトを見たり、PC グラフィックや AutoCAD などの描画アプリケーションを見るのに適しています。 5. **ビデオモード**：このモードはやや暗めの部屋で、PC 入力を介してデジタルカメラや DV からムービーやビデオクリップを再生するのに適しています。 **YPbPr / S ビデオ / ビデオ信号入力** 1. **フォトモード**：このモードは sRGB 対応の正しく調整されたカメラで日中撮影したフォトを見たり、フォト CD を見たりするのに適しています。彩度と輝度のバランスが良い点が特長です。 2. **ムービーモード（デフォルト）**：このモードはラウンジの照明でカラフルなムービーや TV を楽しむのに適しています。 3. **シネマモード**：このモードは暗くしたホームシネマルームやラウンジなどで DVD ムービーを楽しむのに適しています。 4. **ゲームモード**：このモードは普通のリビングルームの照明でゲームボックスベースのビデオゲームを楽しむのに適しています。

自動キーストーン （オン）	この機能を**オン**にするとプロジェクタが傾斜角度を検出し、自動的にキーストーンを補正します。
キーストーン（0）	イメージのキーストーンを補正します。詳細については、25 ページの " キーストーンの補正 " を参照してください。
色温度（選択したアプリケーションモードにより変わります）	色温度 * 設定には 4 種類あります。 ☞ 続けてアプリケーションモードを選択すると、この値はリセットされます。 1. **T1:** 最高の色温度のとき、T1 は他の設定よりも画像をより青白く再現します。 2. **T2:** 画像を青みがかった白で表示します。 3. **T3:** 白の色合いを通常に保ちます。 4. **T4:** 画像を赤みがかった白で表示します。 *** 色温度について :** 用途に応じて「白」とみなされる色合いが多数存在します。白色を表すためによく使用される方法の 1 つに「色温度」があります。色温度の低い白色は赤みがかった白で表示されます。色温度の高い白色は青みがかって表示されます。
輝度（選択したアプリケーションモードにより変わります）	イメージの輝度を調整します。値を高くするほどイメージの輝度が増加します。逆に値を低くするほどイメージは暗くなります。このコントロールを調整すると、イメージの黒い領域が黒く表示されるため、暗い領域の詳細が見えるようになります。 
コントラスト（選択したアプリケーションモードにより変わります）	イメージの明るさと暗さの差を調整します。値を高くするほどコントラストが増加します。選択した入力と表示環境に合わせて輝度を調整した後、これを使って白のピークレベルを設定することができます。 
色（選択した入力ソースにより変わります）	イメージの色強度を増減します。
色合い （50）	イメージの色調を調整します。値を高くするほど緑がかったイメージになります。逆に値を低くするほど赤みがかったイメージになります。 ☞ **ビデオまたは S ビデオ信号が接続されているときには、この機能は NTSC 規格が選択されているときにしか使用することができません。**

2. 高画質画像メニュー

項目によっては、特定の入力ポートを使用している場合にしか調整できないものもあります。調整できない項目はスクリーンには表示されません。

機能 （デフォルト設定値）	説明
自動サイズ調整（オン）	入力信号のピクセル解像度をプロジェクタの最高解像度に自動的にリサイズします。 **オン**：入力信号のピクセル解像度がプロジェクタの最高解像度（1024 x 768）に変換されます。低解像度の入力信号では、投射する前にピクセル間のギャップが自動的に補間されます。これにより画像の鮮明さが失われる場合があります。 **オフ**：画像はピクセルの変換を行わず、元の解像度のまま投射されます。低解像度の入力信号では、投射画像はフルスクリーンサイズにリサイズした場合よりも小さいサイズで表示されます。ズーム倍率を調整するか、プロジェクタをスクリーンから遠ざけると画像サイズを拡大することができます。このような調整を行った後は、プロジェクタのフォーカスを調整し直す必要があるかもしれません。
縦横比（4:3）	縦横比の設定は 2 種類あります。 • 4 : 3（標準スクリーン） • 16 : 9（ワイドスクリーン） **縦横比 16:9 は正しい 16:9 信号が入力されているときに、コンポーネントビデオ入力を介してしか表示することができません。詳細は、18 ページの " コンポーネントビデオソース装置の接続 " と 12 ページの " スクリーンサイズの調整 " を参照してください。**
水平位置（0）	投写イメージの水平位置を調整します。 
垂直位置（0）	投写イメージの垂直位置を調整します。 
位相（選択した入力ソースにより変わります）	この機能を使用すると、クロック位相を調整して、イメージの歪みを減少させることができます。 
水平サイズ（0）	イメージの幅を調整します。
シャープネス（15）	イメージがシャープまたはソフトになるように調整します。

3. 設定メニュー

機能 （デフォルト設定 / 値）	説明
OSD 時間（10）	ボタンを押してからの OSD の表示時間を設定します。5 ～ 100 秒の範囲で設定できます。
クイック冷却（オン）	クイック冷却機能を有効 / 無効にします。**オン**を選択するとこの機能が有効になり、プロジェクタの冷却時間が通常の 90 秒よりも短くなり 30 秒程度で冷却が終了します。
パスワード（オフ）	これは選択可能な機能です。**オン**を選択すると、パスワードを知っているユーザーのみプロジェクタを操作できるようにします。初めてこの機能を有効にするときに、パスワードを設定する必要があります。詳細は、22 ページの " パスワード機能の使い方 " を参照してください。パスワードを設定し、この機能を選択すると、プロジェクタはパスワードで保護された状態になります。正しいパスワードを知らないユーザーはプロジェクタを操作することができません。 ☞ **警告 : パスワード機能を有効にしたにも関わらず、パスワードを忘れてしまうと面倒なことになります。** **オンラインマニュアルを参照される場合は、本書を印刷し、設定したパスワードを本書に書き留めておき、安全な場所に保管しておいてください。** パスワード入力はプロジェクタやリモコンのボタンを使って行ってください。 ☞ **入力したパスワード番号はスクリーン上に表示されます。**
パスワードの変更	新しいパスワードに変更する前に、現在のパスワードを入力するよう要求されます。詳細は、22 ページの " パスワード機能の使い方 " を参照してください。
リセット	すべての設定を工場出荷時の値に戻します。 ☞ **次の設定は現在の設定値のまま維持されます。ミラー、言語、パスワード**

4. 高度な設定メニュー

機能 （デフォルト設定 / 値）	説明
ミラー（床面前面）	このプロジェクタはスクリーンの背後に設置することができます。この場合は、イメージが正しい方向に投射されるようにこの機能を使用することができます。詳細については、12 ページの " 場所の選択 " を参照してください。
ブランク時間（20）	ブランク機能が有効になっているとき、画像をブランクにしておく時間を選択します。ここで設定した時間が経過すると、画像は元に戻ります。
ソース スキャン（オン）	プロジェクタで自動的に入力信号を検索するかどうかを設定します。ソーススキャンがオンの場合、プロジェクタは信号を取得するまで入力信号をスキャンします。この機能が有効になっていない場合は、最後に使用した入力信号が選択されます。
言語 （英語）	OSD コントロール メニューの言語を設定します。選択できる言語は次の通りです。英語、フランス語、ドイツ語、スペイン語、イタリア語、ロシア語、スウェーデン語、オランダ語、ポーランド語、チェコ語、中国語（簡体字と繁体字）、日本語、韓国語、タイ語、ポルトガル語、トルコ語。 任意の言語を選択するには、プロジェクタで **Keystone （キーストーン）▽ / ◀ 左**または **Keystone △ / ▶ 右**ボタン を押すか、またはリモコンで **◀ 左**または **▶ 右**ボタンを押します。
スプラッシュ スクリーン（BenQ ロゴ）	プロジェクタ起動時に表示されるロゴ画面を、ユーザーが選択することができます。選択肢には以下の 3 つがあります。デフォルト （BenQ ロゴ）、黒画面、と青画面です。

高地モード（オフ）	高地や温度が高い場所で使用するときのモードです。海抜 3000 フィート以上、または気温 40×C 以上の環境でこのプロジェクタを使用する場合は、高地モードに設定されるようお薦めします。 高地モードを有効にするには、プロジェクタかリモコンで**左** ◀ / **右** ▶ を押して**オン**を選択してください。確認のメッセージが表示されます。**AUTO （自動）**を押してください。 次のような場合は、[オン] を選択して高地モードに切り替えるよう推奨します：海抜 3000 フィート（約 91000 メートル）以上の場所、または気温が 40 °C 以上の場所で本製品を操作する場合 高地モードをオンにしますか？ はい AUTO（自動） いいえ ▲ 次回プロジェクタの電源を入れると、スタートアップ中に下のようなメッセージが表示されます。 現在の状態 高地モード　オン このモードはプロジェクタを極限状態の環境から保護するために使用します。 高地モードを選択した場合は、システムの性能を維持するために冷却ファンが回転速度を速めるために操作ノイズが高くなる場合があります。
高地モード（オフ）	上記の場合を除き、その他の極限環境でプロジェクタを使用すると、プロジェクタが自動的にシャットダウンする場合があります。これはプロジェクタを過熱から保護するために設置された機能です。このような場合は、高地モードに切り替えてみてください。ただし高地モードに切り替えたからと言って、どのような極限状態でも、また一度もシャットダウンせずに連続して長時間（>10 時間）このプロジェクタを操作できる訳ではありません。
自動電源オフ（オフ）	指定した時間を経過しても入力信号が検出されないときに、自動的にプロジェクタの電源をオフにします。プロジェクタかリモコンの**左** ◀ / **右** ▶ を押して、プロジェクタの電源が切れるまでの時間を設定してください。**オフ**を選択すると、この機能は無効になります。
省電力モード（オフ）	システムのノイズを減らすためにはこのモードを使用します。消費電力が 20% 節減されます。このモードを有効にすると出力されるライトが低減され、その結果投射画像が暗くなります。 ☞ **プロジェクタを常に省電力モードで使用すると、ランプタイマーの自動シャットダウン機能が延長されます。ランプの使用時間を計算する方法については、39 ページの " ランプの使用時間の計算 " を参照してください。**

5. 情報メニュー

このメニューでは、プロジェクタの現在の操作状態を表示します。

項目によっては、特定の入力ポートを使用している場合にしか調整できないものもあります。調整できない項目はスクリーンには表示されません。

機能	説明
ソース	現在の信号ソースを表示します。
解像度	入力信号のネイティブ解像度を表示します。
アプリケーションモード	 **Picture（画像）**メニューで選択したアプリケーションモードを表示します。
ランプ時間（補正済み）	ランプの使用時間数を表示します。
システム	ビデオ入力システムの形式が NTSC 、SECAM 、PAL のいずれかを表示します。

6 メンテナンス

プロジェクタのお手入れ

ご使用のプロジェクタはほとんどメンテナンスの必要がありません。定期的に行う必要があるのは、レンズのクリーニングだけです。

ランプを除き、プロジェクタの部品は一切取り外さないでください。ランプ以外の交換が必要な場合は、販売店にご相談ください。

レンズのクリーニング

表面の汚れやほこりが付いていたら、レンズをクリーニングします。

- 圧縮空気スプレーを使用してほこりを取り除きます。
- 汚れやしみが付いた場合は、レンズ クリーニング ペーパーまたはレンズ クリーナで湿らせた柔らかい布でレンズの表面を軽く拭きます。

☞ **レンズは絶対に研磨剤でこすらないでください。**

プロジェクタケースのクリーニング

ケースのお手入れを行う前に、28 ページの " 終了 " に記載されている正しい手順でプロジェクタの電源を切り、電源コードを抜いてください。

- ほこりや汚れを取り除くには、乾燥した柔らかい、けば立ちのない布で拭きます。
- 落ちにくい汚れやしみを取り除くには、水で薄めた中性洗剤で布を湿らせて、ケースを拭きます。

☞ **ワックス、アルコール、ベンジン、シンナー、その他の化学洗剤は使用しないでください。こうした薬剤を使用すると、ケースを傷める場合があります。**

プロジェクタの保管

長期間プロジェクタを保管する必要がある場合、次の手順に従ってください。

- 保管場所の温度と湿度が、プロジェクタの推奨範囲内であることを確認します。詳細は、46 ページの " 仕様 " を参照されるか、販売店にお尋ねください。
- アジャスタフットを格納します。
- リモコンから電池を取り外します。
- プロジェクタを元の梱包または同等の梱包にしまいます。

プロジェクタの移動

プロジェクタを搬送するときは、元の梱包または同等の梱包で行うことを推奨します。ご自分で運ぶ場合は、最初に本製品が梱包されていた材料か、添付の携帯用ソフトケースを使用してください。

ランプの使用時間の計算

プロジェクタが作動している間、プロジェクタに内蔵されたタイマーがランプの使用時間（時間単位）を自動的に計算します。ランプ時間の計算方法は次の通りです。

合計ランプ時間 = 省電力モードでの使用時間 + 標準モードでの使用時間

☞ 省電力モードについての詳細は、36 ページの " 省電力モード （オフ）" を参照してください。

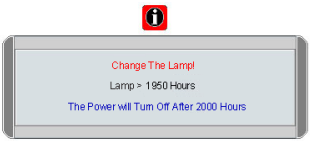
省電力モードでのランプ時間は標準モードの 2/3 として計算されます。つまりプロジェクタを省電力モードで使用すると、ランプ時間を 1/3 ほど延長することができます。

警告メッセージ

LAMP （ランプ）インジケータ が赤に点灯した場合、またはランプの交換時期であることを示すメッセージが表示された場合は、新しいランプを取り付けるか、お買い上げの販売店にご相談ください。古いランプを使用すると、プロジェクタの誤動作の原因となり、ランプが破裂することもあります。

プロジェクタの警告メッセージについての詳細は、42 ページの " インジケータ " を参照してください。

⚠ **ランプの温度が異常に高くなると、LAMP （ランプ）インジケータライトおよび TEMP （温度）警告ライトが点灯します。この場合は、電源をオフにして 45 分間ほど放置し、プロジェクタを常温に戻してください。このようにしても電源をオンにしたときに LAMP （ランプ）インジケータまたは TEMP （温度）インジケータが点灯する場合は、販売店にご相談ください。**
次のランプ警告が表示されたら、ランプを交換してください。

メッセージ	状態
	ランプの動作時間が 1800 時間を超えました。動作を最適化するために、新しいランプを取り付けてください。ランプの動作時間が 1950 時間に達し警告が表示されるまでプロジェクタを操作できる場合があります。
	ランプの動作時間が 1950 時間を超えました。新しいランプに交換しておくと、ランプが寿命で切れる不都合を避けられます。
	ランプの動作時間が 2000 時間を超えました。メッセージはスクリーン中央で約 30 秒間点滅し、同時に **LAMP （ランプ）インジケータ** が 40 秒間赤く点灯します。
	この警告メッセージが表示されると、プロジェクタは 40 秒以内にシャットダウンします。プロジェクタを正常に動作させるには、ランプを交換してください。

ランプの交換

⚠ **• 感電を防ぐため、ランプを交換する前には必ずプロジェクタの電源をオフにし、電源コードを抜いてください。**

• 重度のやけどを負う危険を防ぐため、ランプを交換する前に、最低でも 45 分間はプロジェクタを冷却してください。

割れて鋭くなったランプのガラス片を取り除く場合は、指をけがしたり、内部部品を破損したりしないように、十分注意してください。

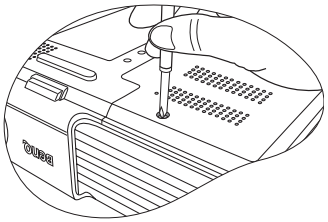
指のけがや、レンズに触れることによる画質の劣化を避けるため、ランプを取り外すときに空のランプ ケースには触れないでください。

このランプには水銀が含まれています。ランプの処分は、地元の有害廃棄物規制条例にしたがって、正しい方法で行ってください。

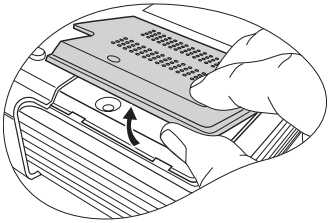
ステップ 1. 電源をオフにして、プロジェクタをコンセントから抜きます。

ステップ 2. 机の上のものを他の場所に移し、机の上に柔らかいものを置いてプロジェクタを保護してください。

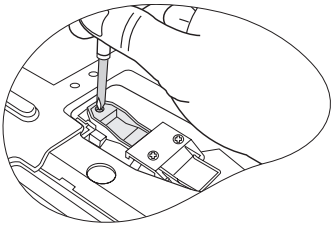
ステップ 3. プロジェクタを上下に裏返します。次にネジを緩めてください。



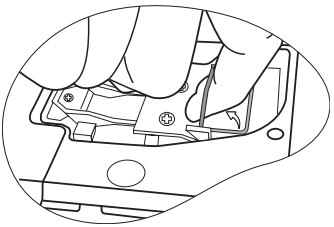
ステップ 4. ランプカバーを外します。ランプが高温になっている場合は、やけどを防ぐためにランプを 45 分間放置して常温に戻してください。



ステップ 5. ランプをプロジェクタに固定しているネジを緩めます。ネジを完全に緩めなければ、ランプを外すことはできません。新しいランプを固定するときに必要ですので、ネジは紛失しないように保管しておいてください。磁気ヘッドのドライバを使用することを強くお勧めします。



ステップ 6. ハンドルを持ち上げて立てます。ハンドルを使って、ゆっくりとランプをプロジェクタから引き抜きます。



• 急激に引っ張るとランプが割れ、ガラスの破片がプロジェクタ内に散乱します。

• 取り出したランプは、水のかかる場所、子供の手が届く場所、可燃物の付近には置かないでください。

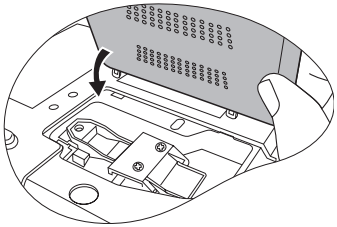
• ランプを取り外した後は、プロジェクタ内に手を入れないでください。内部の光学部品に手を触れると、投写イメージの色が不均一になり歪む場合があります。

ステップ 7. 新しいランプを挿入します。ハドルが完全にフラットな状態になっており、ロックされていることを確認してください。ネジをしっかりと締めてください。

• ネジの締め方がゆるいと接触が悪くなり、故障の原因になる場合があります。

• ネジを締め過ぎないでください。

ステップ 8. ランプカバーを再度取り付け、ネジを締めます。



ステップ 9. プロジェクタを再起動してください。

ランプカバーを外したまま、電源を入れないでください。

ステップ 10. ランプカウンタのリセット

ランプを交換していない場合はリセットしないでください。ランプが破損する恐れがあります。

i. プロジェクタの **BLANK（ブランク）/ ▲ 上** ボタンを 5 秒間押すと、ランプの合計動作時間が表示されます。

ii. **AUTO（自動）**ボタンを押して、ランプの合計動作時間を 0 に戻します。

iii. OSD が消えるまで、5 秒ほどお待ちください。



温度情報

温度警告ライトが点灯している場合は、以下の問題が発生していることを示しています。

- 内部温度が異常に高くなっています。
- ファンが動作していません。

プロジェクタの電源をオフにし、認定サービス担当者にお問い合わせください。詳細は、42 ページの " インジケータ " を参照してください。

インジケータ

意味

- **Blank** （ブランク）**-**: ライト消灯
- : ライト点滅
- : ライト点灯
- O: オレンジ色
- R: 赤色
- G: 緑色

Light （ライト）			状態と説明
電源	**温度**	**ランプ**	
電源の状況			
O	-	-	• 電源を切った後、プロジェクタは冷却する必要があります。 • プロジェクタはスタートアップ時の冷却を行っています。
O	-	-	スタンバイ モードです。
G	-	-	起動中、POWER （電源）インジケータ ライトが点滅します。
G	-	-	プロジェクタは通常動作中です。
ランプの状況			
O	-	R	ランプの合計使用時間が 2000 / 3000 （省電力モードのとき）時間を超えました。直ちに新しいランプに交換してください。
-	-	R	ランプが正しく装着されていないか、壊れています。販売店にお問い合わせください。
温度の状況			
-	R	-	プロジェクタが自動的に終了しました。プロジェクタを再起動しようとしても、プロジェクタは再度終了します。販売店にお問い合わせください。
-	R	R	
-	R	G	

-	R	O	プロジェクタが自動的に終了しました。プロジェクタを再起動しようとしても、プロジェクタは再度終了します。販売店にお問い合わせください。
R	R	R	
R	R	G	
R	R	O	
G	R	R	
G	R	G	
G	R	O	
O	R	R	
O	R	G	
O	R	O	
-	G	R	
-	G	G	

7 トラブルシューティング

? プロジェクタの電源を入れることができません。

原因	対応
電源コードから電源が来ていません。	電源コードをプロジェクタの電源コードソケットとコンセントに差し込みます。コンセントにスイッチがある場合は、スイッチがオンになっていることを確認します。21 ページの " 起動 " を参照してください。
冷却プロセスの間にプロジェクタの電源をオンにしようとしています。	冷却プロセスが完了するまでお待ちください。28 ページの " 終了 " を参照してください。

? 画像が映らない

原因	対応
ビデオ ソースがオンになっていないか、正しく接続されていません。	ビデオ ソースをオンにし、信号ケーブルが正しく接続されていることを確認します。16 ページの " 接続 " を参照してください。
プロジェクタが正しく入力ソース機器に接続されていません。	接続を確認します。16 ページの " 接続 " を参照してください。
入力信号が正しく選択されていません。	プロジェクタまたはリモコンの **SOURCE（ソース）** ボタンで正しい入力信号を選択します。27 ページの " 入力信号の切り替え " を参照してください。
レンズカバーが閉じたままになっています。	レンズカバーをスライドさせて開きます。

? 画像が不安定です。

原因	対応
接続ケーブルがプロジェクタまたは信号ソースに正しく接続されていません。	ケーブルを適切な端末に接続してください。16 ページの " 接続 " を参照してください。

? 画像がブレます。

原因	対応
投写レンズの焦点が合っていません。	ピントリングで焦点を合わせます。25 ページの " 画像サイズと明瞭さの微調整 " を参照してください。
プロジェクタとスクリーンの位置が正しく合っていません。	投写角度および方向、また必要であれば装置の高さを調整します。12 ページの " スクリーンサイズの調整 " を参照してください。
レンズカバーが閉じたままになっています。	レンズカバーをスライドさせて開きます。

⑦ リモコンが作動しません。

原因	対応
電池が切れています。	電池を新しい電池に交換します。
リモコンとプロジェクタの間に障害物があります。	障害物を取り除きます。
プロジェクタからの距離が遠すぎます。	プロジェクタから 6 メートル （20 フィート）以内の場所に立ってください。

8 仕様

プロジェクタの仕様

☞ **仕様はすべて予告なしに変更されることがあります。**

全般

製品名	デジタル プロジェクタ
モデル名	CP120c

光学

解像度	1024 x 768 XGA
表示システム	1-CHIP DMD
レンズ F/ 番号	F=2.6 ～ 2.96, f= 25.8 ～ 30 mm
ランプ	132W ランプ

電気仕様

電源	AC100 ～ 240V、3.5A、50/60Hz （自動）
消費電力	190W （最高）

機械仕様

外形寸法	218 mm （幅）x 61 mm （高さ）x 167 mm （奥行き）
重量	2.9 lb （1.3 Kg）

入力端子

コンピュータ入力	
RGB 入力	D-sub 15-pin （メス）x 1
ビデオ信号入力	
S ビデオ	Mini DIN 4-pin ポート x 1
ビデオ	RCA x 1
HDTV 入力	D サブ <--> コンポーネント RCA ジャック x 3, （RGB 入力の場合）

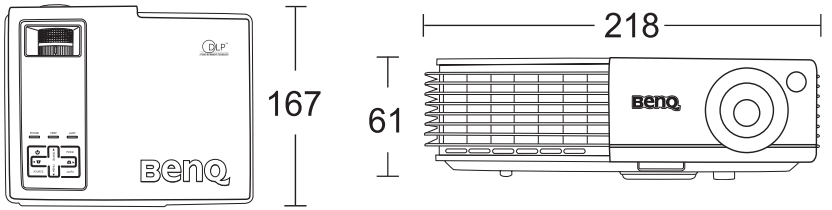
出力

USB マウス コネクタ	ミニ B タイプ x 1

使用環境条件

動作温度範囲	0 °C ~ 40 °C（海抜）
操作時の相対湿度	10% ～ 90% （結露なきこと）
動作高度	• 0 - 3000 フィート （0 °C ～ 40 °C のとき） • 3000 - 6000 フィート （0 °C ～ 30 °C のとき） • 6000 - 10000 フィート （0 °C ～ 23 °C のとき）

寸法



単位：mm

タイミングチャート

PC 入力用にサポートされているタイミング

解像度	水平周波数（kHz）	垂直周波数（Hz）	ピクセル周波数 （MHz）	モード
640 x 480	31.469	59.940	25.175	VGA_60
	37.861	72.809	31.500	VGA_72
	37.500	75.000	31.500	VGA_75
	43.269	85.008	36.000	VGA_85
800 x 600	37.879	60.317	40.000	SVGA_60
	48.077	72.188	50.000	SVGA_72
	46.875	75.000	49.500	SVGA_75
	53.674	85.061	56.250	SVGA_85
1024 x 768（最高）	48.363	60.004	65.000	XGA_60
	56.476	70.069	75.000	XGA_70
	60.023	75.029	78.750	XGA_75
	68.667	84.997	94.500	XGA_85
1280 x 800	64	60	108	WXGA
1280 x 1024	63.981	60.020	108.000	SXGA3_60
1400x 1050	63.973	60.012	118.094	SXGA+_60
1440x 900	64	60	108	WXGA+

プロジェクタのネイティブ解像度である 1024 x 768 を使用すると、最高品質の画像が得られます。

コンポーネント YP_bP_r 入力用にサポートされているタイミング

信号フォーマット	水平周波数 （kHz）	垂直周波数 （Hz）
480i(525i)@60Hz	15.73	59.94
480p(525p)@60Hz	31.47	59.94
576i(625i)@50Hz	15.63	50.00
576p(625p)@50Hz	31.25	50.00
720p(750p)@60Hz	45.00	60.00
720p(750p)@50Hz	37.50	50.00
1080i(1125i)@60Hz	33.75	60.00
1080i(1125i)@50Hz	28.13	50.00

ビデオおよび S ビデオ入力用にサポートされているタイミング

ビデオモード	水平周波数 （kHz）	垂直周波数 （Hz）	カラー副搬送波周波数 （MHz）
NTSC	15.73	60	3.58
PAL	15.63	50	4.43
SECAM	15.63	50	4.25 または 4.41
PAL-M	15.73	60	3.58
PAL-N	15.63	50	3.58
PAL-60	15.73	60	4.43
NTSC4.43	15.73	60	4.43

保証

限定保証

BenQ は、本製品が正常に使用および保管される場合に限り、本製品の材料および製造上の瑕疵がないことを保証します。

保証を受ける際には、購入日の証明が必要となります。保証期間中に本製品に瑕疵があることが判明した場合、BenQ の全責任と、お客様に対する全面的な補償は、瑕疵のある部品の交換 （ 工賃を含む）に限られます。保証サービスを受ける場合は、製品を購入した販売店に直ちに連絡してください。

重要：お客様が BenQ の文書による指示に従わずに操作を行った場合はこの保証は無効となります。特に本製品は環境湿度 10% から 90% の間、温度 0 ºC から 40 ºC の間、高度 10000 フィート以下の環境でご使用になり、ホコリが立ちやすい場所での使用はお止めください。この保証により、お客様には特定の法的権利が与えられます。また、在住している国によっては、お客様にその他の権利が与えられることもあります。

詳細は、弊社ホームページ www.BenQ.com をご覧ください。

10 法規

FCC 規則

B クラス：本デバイスはラジオ周波エネルギーを発生、使用し、さらに放射する可能性があり、指示にしたがってインストールおよび使用しなければ、ラジオ通信に有害な障害を与える場合があります。しかしながら、特定の方法で設置すれば障害を発生しないという保証は何もありません。このデバイスがラジオや TV 受信装置に有害な障害を与える場合は（デバイスの電源を一度切って入れなおすことにより確認できます）、障害を取り除くために次の方法にしたがってください。

- 受信アンテナの方向を変えるか、設置場所を変える
- このデバイスと受信装置の距離をあける
- このデバイスの受信装置とは別のコンセントに接続する
- ディーラーか経験のあるラジオ /TV 技術者に問い合わせる

EEC 規則

ここに BenQ Corporation は、本製品が CE 記号指令 （93/68/EEC）、電磁波融和指令（89/336/EEC, 92/31/EEC）、および低電圧指令 （73/23/EEC）に関連する、参加国の法律の統一化に関する協議会指令において定められた重要な条件に適合していることを宣言します。

ICES 規則 （カナダ）

このクラス B デジタル装置はカナダ ICES-003 に準拠しています。

VCCI 規則

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会（VCCI）の
基準に基づくクラス B 情報技術装置です。この装置は家庭環境で
使用することを目的としていますが、ラジオやテレビジョン受信機
に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。
取扱説明書に従って正しい取り扱いをしてください。

MIC 規則

B クラス装置 （家庭用情報 / 電気通信装置）

本装置は家庭用として EMC 登録を受けているため、本製品は住居地域を含む任意の地域で使用できます。

기종별	사용자 안내문
B급 기기 (가정용 정보통신기기)	이 기기는 가정용으로 전자파적합등록을 한 기기로서 주거지역에서는 물론 모든 지역에서 사용할 수 있습니다.